



地方独立行政法人広島市立病院機構
安佐市民病院広報紙
—第49号—

〒731-0293 広島市安佐北区可部南二丁目 1-1

TEL : 082-815-5211 (代)

<http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp>



院長
平林 直樹

病院長就任のご挨拶

平成28年4月より、広島市立安佐市民病院院長を拝命した平林直樹です。当院に着任しては19年が経過しましたが、この間外科医、副院長、医療支援センター長として地域の皆様により良い医療を提供しようと頑張ってきました。そして今、院長として今後4年間に成すべきことを考えた時に、タイトルのような言葉に辿り着きました。

昭和55年（私が医学部を卒業した年です）開院当初から、安佐市民病院は地域の皆様と共に地域の病院として求められる医療を提供することに邁進してきました。すなわち地域の皆様が病気になる時に、身近な病院としての機能を果たしてきました。そのことを疑う人はいないと思います。しかしながら昨今の医療を取り巻く状況（高齢者の急増と医療費高騰）により、大きな変革が必要となってきました。その目玉の一つが、2025年までに構築し機能を発揮するように進められている地域包括ケアシステムです。

この言葉を聞かれた方は多いと思いますが、言葉が難しすぎてよく分からない

いとか、自分とは関係ないとお思いの方も多いのではないでしょうか？この言葉を分かりやすく言うと、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためのシステムということです。

このシステムは医療（あるいは介護）だけでは構築できません。生活に関するすべてのことが、包括（取り込まれる）されていないと効果が出ません。その為には何が必要でしょうか？私は高度成長期に崩壊した従来型地域での関係性（「コミュニティ」）の復活が必要ではないかと思っています。箱物やシステム等の枠組みを作っても、そこに住む地域住民の積極的な参加が無ければ実は上手くいかないのではないかと思います。

地域包括ケアシステムを円とすると、その中心に位置するのはもちろん地域住民の方です。それでは安佐市民病院は何処にあれば良いのでしょうか？円の一番外にあり、かかりつけの先生では対応できないような状況になった時だけ存在が意識される病院であるべきだと思っています（もちろん地域包括ケアシステムの中で医療の最後の砦としての役割はあり、それが無ければ安心して住むことは出来ないのですが）。それではなぜタイトルのようなことを考えたのでしょうか？

今まで安佐市民病院は地域にあるので受診し治療を受けていた病院だったと思います。しかしこれからは安佐市民病院でないと治療できない、安佐市民病

院に行けば何とかなる、旧市内に行かなくても安佐市民病院で治療を受けるほうが良い、あるいは〇〇先生に診てもらいたいと地域の皆様に医療の質で選ばれる病院を目指すべきだと考えております。

当院が提供している医療の解析から、安佐市民病院は全国の大学病院に次ぐ医療を提供している病院（DPCⅡ群）として厚労省より2年前に全国99病院の一つとして認定され、今年度も継続して認定されることが決まりました。したがって今提供を受けている医療は、決して二流ではなく高水準の医療であると思っていただいて結構です。今後はより丁寧に地域の皆様に当院の医療の質を開示し地域性ではなく、医療の質で自信をもって選んでいただける病院を目指そうと考えております。そうすることで新病院への信頼も今以上に高まるものと思っております。地域の皆様には地域の中での安佐市民病院の立ち位置と役割について、より一層のご理解とご支援をお願いしたいと思っております。何より当院のファンになって頂き、当院を育てて頂き、そして必要な時に当院を高い信頼を持って選んで頂きたいと願っております。

今後当院を選んで本当に良かったと今以上に信頼を寄せて頂ける病院を目指しますので、引き続き皆様のご支援を賜りますようお願いし、私の院長就任のご挨拶とさせていただきます。

安佐市民病院は地域の病院から皆様に選ばれる病院に変貌します！

肺がんの早期発見から治療まで

腫瘍内科兼呼吸器内科の北口です。呼吸器内科、胸部外科、放射線科、緩和ケア内科、病理診断科、認定薬剤師、認定看護師と、密に連携をとりチームで肺がん診療をしています。

肺がんの早期発見から治療まで、ポイントを解説いたします。

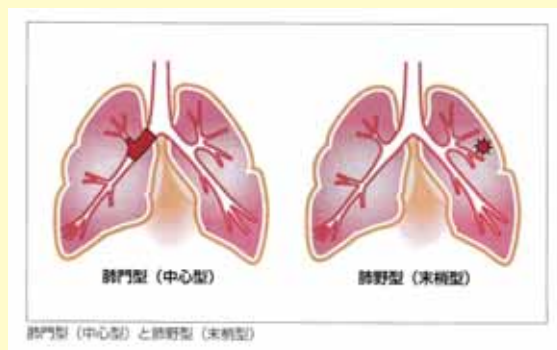


腫瘍内科主任部長

北口 聡一

喫煙をやめて、検診で早期発見！

肺がんには、肺門型(中心型)と肺野型(末梢型)があります。肺門型は太い気管支にできるがんで咳、痰、血痰の症状が出やすく、これらの症状が継続する場合、ぜひクリニックを受診しましょう。他の症状として嚔声(させい:縦隔という部位のリンパ節への転移により声がかすれる)、胸痛、呼吸困難、頸部のリンパ節腫脹があります。肺野型の場合は、がんが肺の奥にあるため無症状の場合が多く、検診やドッグの胸部レントゲンで初めて指摘されびっくりすることが多いです。40歳以上であれば、**年1回の検診やドックで積極的に胸部レントゲンを撮影することが早期発見につながります。**役所、医療機関、職場で相談されてみてください。広島県では肺がん検診で受診率は18%と低く発見率は0.05%です。症状の早期で見つかり手術で治癒される方も多いです。



喫煙があれば、肺がんになる危険性は吸わない場合の7倍高まり、さらに強く意識して検診を利用されることをお勧めします。喫煙は、喉頭がん、膵臓がん、心筋梗塞、肺気腫も引き起こします。医学的には身体には悪い影響がほとんどで、**禁煙外来を利用してきっぱりやめましょう。**

精密検査と治療方法

精密検査は、CTによる断層写真やPETがあります。CTで腫瘍陰影が5-10mm前後であれば、経過を追わせていただくことがあります。**PET**はがんの広がりや転移部位の検索に威力を発揮しますが、当院で実施可能です。がんの居場所が明らかとなると、次に確定診断が必要です。痰の細胞を顕微鏡でみる喀痰細胞診、気管支鏡による生検、CTガイド下生検などです。当院の気管支鏡検査は**超音波、ナビゲーションシステム**を利用した最新鋭の設備であり、診断技術も非常に高いです。

治療は、手術、放射線、薬物療法がありますが、いずれも発展しています。**薬物では、抗がん剤、分子標的薬に、つい最近では、免疫療法の薬(ニボルマブ)も、保険適応になりました。**免疫療法は、ご自分の免疫力を高め、がん細胞をやっつける治療で、効果のある方の率は、抗がん剤と同様に20%程度です。効果のある方は、長期間、がんが大きくなり、生存期間を延長します。しかし、頻度は低いのですが、下痢、甲状腺機能低下症、I型糖尿病など、特徴的な副作用があります。非小細胞型の肺がんが対象ですが、高額医療申請が必要です。



当院は肺がん患者さんに標準的治療を基本としつつ、最新最良の医療を提供することを意識しながらこれからも邁進いたします。

(挿入の図は「よくわかる肺がんQ&A(特定非営利活動法人西日本がん研究機構(WJOG)発行)から抜粋)

今年もやりました!!

第6回

ブラックジャック・セミナーを開催して
大盛況のブラックジャック・セミナー2016外科主任部長(現副院長)
向田 秀則

今年も医療に興味を持つ高校生を対象としたブラックジャック・セミナーを、ブラックジャック先生?にも参加頂いて、平成28年3月5日に開催しました。このセミナーは、安佐市民病院、ジョンソン&ジョンソン株式会社の共催で、平林副院長(現院長)が2011年から始め今年で6回目となります。

本セミナーの目的は、これからの日本を背負っていく若い皆さんに医療について興味を持っていただく、特に外科に興味を持っていただき、出来れば将来外科医となって日本の外科医療を担う人材を多く作り出したいということです。これまで受講した高校生は200名を超えましたが、このうち何人が医学部に進学してくれたかは残念ながら把握できていません。

日本の医師数は2013年に初めて30万人を超え(このうち外科は2.8万人)、人口1,000人に医師数2.2人となりました。実を言うとこの数は、OECD(経済協力開発機構)の34カ国中31番目でかなり少ないのです(OECDの平均は3.0人)。OECDの平均レベルにするには約8万人が必要と言われています。決して数だけの問題ではありませんが、これから2025年問題で超高齢化社会を迎える日本では、さらに多くの医師が必要となると考えられます。我々の努力が少しでもこの問題解決に貢献できればいいのですが…。

今回の参加者は8つの高校から30名で、これまでになかったことですが、男子生徒が18名と多かったことです。この年代の男子はシャイな傾向が強く、例年では参加者の1割くらいしかいないのですが…? 今年はどうしたことでしょう。まさに『びっくりポン』でした。

平林副院長の開催挨拶の後、6つのグループに分かれてセミナーを開始しました。できるだけ他校の生徒とグループを組むようにして、コミュニケーションを取るためにまずはみんなで自己紹介から開始しました。

実際に体験してもらう内容は、

1.手術室体験ツアー

実際に当院の手術室を見学し、手洗い実習(当日に外科の緊急手術があったため、患者さん・手術室に迷惑にならないか心配しましたが無事実習ができ、当日の手術室スタッフに感謝いたします)。

2.自動縫合器、吻合器のファイヤー体験

手術で実際に使用している最新の手術器具を使用して、胃の切除と再建を行ってもらいました。

3.超音波メスでの鶏肉切開体験

これも最新の手術器具を使用し、切開。

4.手術縫合、結紮体験

5.ラップメンター(シュミレーター)を使用時の内視鏡下の胆嚢摘出術体験

6.エンドトレーナーによる内視鏡手術操作体験

以上の6つのタスクを、それぞれ20分と短い時間で次々こなしていくのでかなりハードなセミナーです。

参加した学生さんはいずれも医師希望で、興味もあるため実に真剣に、積極的に参加してくれました。第1回セミナーに参加してくれた生徒は現在、医学生となっているはずですが。我々の蒔いた種がうまく育っていることを願う次第です。来年か再来年には『以前このセミナーに参加して外科医になることを決めました』と言ってくれる研修医が当院にきてくれることを切に願っています。



心不全看護外来について

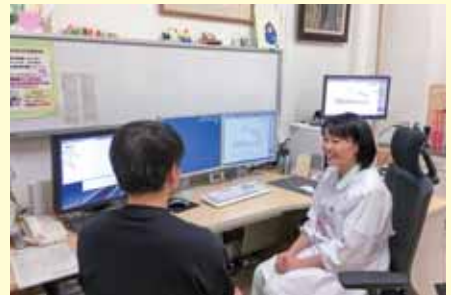
慢性心不全看護認定看護師
小林 志津江

心不全看護外来を担当しています。慢性心不全看護認定看護師の小林志津江といいます。普段は南2病棟で勤務していますが、毎週木曜日、心不全で退院された患者さん、外来通院中の患者さんを対象に生活面を中心とした面談をさせて頂いています。

現在、心不全の患者さんは年々増加傾向にあります。それは高血圧・狭心症・心筋梗塞・弁膜症・不整脈などの病気が最後は心不全につながるからです。心不全は昔より身近な病気になってきました。心不全と初めて診断されたら、誰でも心臓の病気ということで不安でいっぱいになるかもしれません。しかし、心不全は体重・血圧の管理、薬をきちんと飲むこと、減塩食を実行するなど、患者さん自身が自分の体に気を配ることによって、増悪による再入院予防ができる病気です。

個別面談では、退院後、調子を崩していないか、何に気を付けて生活したらよいか、薬の飲み方、食事の管理、どんな時に受診した方がいいかなど、生活の様々な相談を受けます。退院後のご自宅の生活環境や大切にされていることなどは患者さん一人ひとり違います。一人ひとりの問題を聞き、その人に合った解決策を一緒に考え、支援することを目的としています。

心不全は自宅での自己管理がとても重要ですが、心不全と診断されたその日から自分の病気と向き合い、様々な制限を生活にうまく取り入れて暮らしていくのは本当に大変です。そのためには、家族の方、担当の介護・福祉スタッフや訪問看護師、かかりつけ医の先生とも連携をとり、多くの人々がサポートしていくことも必要と考えています。患者さん自身が自分なりのスタイルを見つけ、自己管理を上手に生活習慣化し、その人らしく生活が出来ることを願っています。これからも、心不全の患者さんと一緒に頑張っていきたいと思います。



医療安全は医の一番



医療安全対策室
医療安全管理者 近森 さつき

私は、安佐市民病院の医療安全対策室で医療安全管理者として勤務をしています。医療安全管理者とは、患者さんやご家族が安心して安全な医療を受けられるように、あらゆる安全に関する問題に対応する役割を担っています。タイトルの「医療安全は医の一番」は、医療安全管理者になった時に、上司からいただいた言葉で大切にしています。

医療安全対策については、平成13年に厚生労働省に医療安全推進室が設置され、平成14年に病院・有床診療所に医療安全体制整備が義務付けられました。そして、平成15年に特定機能病院(大学病院など)に医療安全管理者の配置等が義務付けられ、当院も平成17年4月に医療安全対策室が設置され、1名の専任医療安全管理者が配属されました。

主な活動としては、安全に関するシステム構築と医療安全研修等で、まちがいをおこしにくいシステム作りと職員の安全に対する意識の向上への取り組みです。システムの1つを紹介すると、患者まちがい防止や正しい与薬の方法として、**指差し呼称**と6つの正しい確認(患者・薬剤・時間・経路・薬の量・薬の目的)を行っています。指差し呼称は、駅員さんが列車の発車時に行う指差し確認を医療用にした方法です。毎朝、朝礼時に指差し呼称を唱和して安全意識を高めて勤務についています。内服や注射の時には患者さんの側で、指差し呼称と6つの確認を行い、正しい与薬に取り組んでいます。

医療安全研修は、昨年度4回開催しました。1回はヒヤリハット小劇場という、職員が役者になり医療安全推進の寸劇を行いました。多くの職員が研修会に参加することで安全意識の向上に努めています。

また、医療安全対策室は医療安全相談窓口を開設しておりますので、医療に関するご相談がありましたらお越しく下さい。

※医療安全相談窓口 場所:南館3階 医療安全対策室



アドバンスケアプランニングについて学ぶ 市民講演会を開催しました!

医療ソーシャルワーカー 山崎 恭子

平成28年2月21日(日)午後1時30分から安佐北区民文化センターで、「笑って生きよう 前向きな終活に向けて」というテーマで安佐市民病院主催の市民講演会を開催しました。前日の大雨から一転して快晴となり、約650名の来場者がありました。

講演会ではまず、「高齢社会での豊かな人生を目指して—アドバンスケアプランニングとともに—」というテーマで、安田女子大学招聘教授・三原赤十字病院呼吸器内科の有田健一先生に講演をして頂きました。アドバンスケアプランニング(ACP)とは、「自分の考えを伝えられなくなった場合に備えて、前もって受ける医療に対する希望を家族や医師に伝え、文書に残す手順」のことです。有田先生の講演では、豊かな人生を目指す上で自分の医療やケアについての希望や思いといった“心づもり”を、主治医や周りの人と共有しておくことが大切だということを事例を通して分かり易くお話しされました。



有田 健一 先生



次に、漫才コンビとして一世風靡され、現在は講演、執筆活動に精力的に取り組んでおられる島田洋七先生に「がばいばあちゃんの笑顔で生きんしゃい!」という演題で講演して頂きました。幼少期の佐賀での「がばいばあちゃん」とのエピソードや、学生時代、漫才コンビ時代の様々な体験から培われた人生論は会場を大きな笑いで包み込み、70分の講演はあっという間に終了しました。

講演会後のアンケートでは、ACPの理解について、来場者の9割以上という多くの方が「理解できた」と回答され、「使ってみたいと思う」と回答された方も6割強おられました。また8割近くの方が、ACPや終活について「さらに知りたいと思う」と回答されました。

今後もACPについての研修会等、開いていきたいと思います。

安心して
ください!

手ぶらで入院できますよ

みなさん、こんにちは!

私達は2015年4月より、安佐市民病院が考える患者さんのアメニティ向上に寄与すべく、委託業務としてお仕事を頂いております【ワタキューセイモア株式会社】と申します。

セットレンタルとは?まだ馴染みが無い方もいらっしゃると思いますが、患者さんが入院期間中のパジャマ・タオル類・日用品をセットとし、1日単位でご利用いただける洗濯付きレンタルシステムです。

一番の目的は入院前における身の周り品の買い揃え、入院期間中のお洗濯を気にせず快適にお過ごし頂くことです。2016年1月より、内容を厚く紙オムツセットもご利用頂けるようになりました。業務に関しましては常駐社員が皆初めての経験でしたので、大変ご迷惑をお掛けしながらも職員にご協力頂き、何とかここまで来ることができたと同心より感謝申し上げます。

安佐市民病院の一員としての自覚を持ち、これからも業務に邁進していく所存です。

今後とも何卒、宜しくお願い致します。



たけのこ（筍）ごはん

～春のおでかけにピッタリ！～



1人分:320kcal 塩分1.9g

材 料	(約4人分)
ゆでたけのこ	100g
油揚げ	40g
米	2合
だし(かつお・昆布)	350ml
【A】	
酒	大さじ1
「うす口醤油	大さじ1+1/2
昆布	3cm角 1枚
塩	小さじ1/2
木の芽	適量

参考：みんなのきょうの料理、レシピブログ
栄養室 管理栄養士 保本 梨沙

作り方

- ①たけのこを幅5mm・長さ3～4cmくらいの細切りにする。油揚げはペーパータオルにはさんで余分な油を取り除き、せん切りにする。
- ②米は洗ってざるに上げる。
- ③炊飯器に②の米を入れ、だしと【A】を注ぐ。昆布、塩を入れ①のたけのこを油揚げを加えて炊く。
- ④炊きあがったら15分蒸らす。③の昆布を取り除き、底からサックリと混ぜる。器に盛りつけ、上に木の芽を添える。

たけのこにはかつお節が相性ピッタリ。顆粒だしではなく昆布とかつお節からだしをとると、炊飯器を開けたとき何ともいえない香しさが広がります。
お好みでうす焼き卵を巻いたりすれば、より一層華やかに♪
春のおでかけにいかがですか☆



◎だしの取り方（できあがり目安 約2カップ）
鍋に水500ml、はがき半分くらいの大きさの昆布1枚を入れ、20分程度置いてから中火にかける。沸騰直前で昆布を引き上げ、かつお節20gを加えて火を止める。1分間程置いたら、不織布タイプのペーパータオルなどを敷いたざるでこす。



【病院機能評価】

安佐市民病院の理念と基本方針

理 念

- ・愛と誠の精神をもって医療を提供します。
- ・地域の基幹病院として高度の医療・ケアを行います。

基本方針

1. 患者さまの立場を尊重し、理解と納得 にもとづいた医療を行います。
2. 安全な医療と快適な療養環境の提供に努めます。
3. 地域と連携し、地域医療、救急医療、トータルケアの水準の向上に努めます。
4. 最新の医療にとりくみ、医療・医学の進歩に貢献します。
5. より良い医療サービス提供のため、健全な病院運営に努めます。



患 者 の 権 利

広島市立安佐市民病院は、患者の権利に関する「リスボン宣言」を擁護し、患者の最善の利益のために安全で質の高い医療を目指します。

1. **良質の医療を受ける権利**
良質で適切な医療を公平に受ける権利があります。
2. **情報を知る権利**
ご自身の病状や治療等に関して十分な説明と情報を得る権利があります。
3. **自己決定の権利**
ご自身の健康状態について十分な説明を受け、ご自身の自由な意思で検査や治療方法を選ぶ権利があります。
4. **選択の自由の権利**
病院あるいは保健サービス施設等を自由に選択し、変更する権利があります。
セカンド・オピニオン（別の医師の意見を求める権利）を求める権利があります。
5. **健康教育を受ける権利**
健康的なライフスタイルや、疾病の予防および早期発見等に関する情報を与えられた上で自己選択（インフォームド・チョイス）できる権利があります。

6. 個人情報・プライバシーが守られる権利

医療従事者が医療上知り得た個人情報は保護され、プライバシーが守られる権利があります。

7. 尊厳が守られる権利

個人として尊重され、尊厳を保ち安楽に終末期を迎えるための、あらゆる可能な支援を受ける権利があります。

お 願 い

当院で安全で質の高い医療・看護が適切に受けられるためご協力をお願いします。

- ・ご自身の健康に関する情報をできる限り正確に伝え、医療従事者と共同して診療に参加してください。
- ・快適な療養環境の維持に協力をお願いします。
- ・医療安全の実践に協力をお願いします。
- ・病院の規則を守ってください。
- ・他の患者の療養に支障を与えないように配慮をお願いします。
- ・医療人の育成に協力をお願いします。
- ・現在考えられる安全な臨床医学の範囲を超える要求には応じられないことをご承知ください。